



本日のテーマ「食べもの」

実施日：2020年11月29日

1 「おにぎりの文化史」

横浜市歴史博物館／監修 2019年 河出書房新社 【383.8】

おにぎりについて、歴史や成り立ちなど考えたことはありますか？
身近すぎて知らなかったことが分かりますよ。

読んでいるうちにおにぎりが食べたくなってきました。

「につぼんのおにぎり」白央篤司／著
2015年理論社【E2】

各県のおにぎりを紹介した写真絵本です。具も
形も様々なのが、よくわかります。どれも食べた！！



2 「禁断のパンダ」「蜜蜂のデザート」

拓末司／著 2008年 宝島社【N夕】

今回のテーマ「食べもの」にこの本を選んだのは、ちよと勇気が
いることだけ。果たして正解だったのかは、読んだ人に委ねることに
します。著者は、元フレンチの料理人なので、優雅で繊細な
料理描写に食欲がそそられます。グルメミステリー本と思えば…

3 「喰ったらヤバいいきもの」 驚愕のラスト文にやわやわとときき。

平坂寛／著 2017年 主婦と生活社【664.6】

この本の「ヤバい」は美味しいという意味ではありません。
怪魚、珍獣、奇虫…等々「ヤバい」生き物たちを捕獲して
食べる著者の情熱は、「生き物のことを深く知りたい！」から
きているそうです。グリーンイグアナなら食べてみたいかも…と
少し思いました。

4 「MINIATURE TRIP IN JAPAN」

田中達也／著 2019年 小学館【748】

お弁当の箱に詰められたそばや飯を火田に、お吸いもの
池に…と「見立て」作家によるミニチュア写真集です。
お水をこんな風にするのか！と見ると楽しくなります。



5 「富士日記 上・中・下」

武田百合子／著 1981年 中央公論社【S915夕】

武田百合子さんの豊かな感性にかかれば、日常の
小さな出来事がトピックにすぎません。毎日の食事
も平凡な飯立ですが、この本を読んで、けち臭いではない
ぶつうの食卓をもっと丁寧に味わおうと思えました。

6 「おやつが好き」

坂木司／著 2019年 文藝春秋【914夕】

みなさん、おやつは好きですか？

資生堂パーラーや千足屋など、おやつというには、
ちょっとお高いものも登場しますが、もう、本当に
全部おいしそうで、食べたーってなってしまう
ますよ。



7 「おいしい時間をあの人へ」

伊藤まさこ／著 2019年 朝日新聞出版【596】

おいしい食べものは自分で食べても幸せになるし
人にあげて喜ぶ顔を想像するのが楽しいです。
新しいお気に入りのお品を見つけ下さい。



8 「しんでくれた」

谷川俊太郎／詩 塚本やすし／絵 2014年
佼成出版社【Eシ】

小学生(?)が紹介してくれた本です。
美味しそうな食べものが出てくる本ばかり読んでた
大人は反省しました。

